

技能労務職員の給与等に関する規則等の一部を改正する規則をここに公布する。

平成二十九年十二月二十二日

奈良県知事 荒井正吾

奈良県規則第二十三号

技能労務職員の給与等に関する規則等の一部を改正する規則

(技能労務職員の給与等に関する規則の一部改正)

第一条 技能労務職員の給与等に関する規則(昭和三十二年十月奈良県規則第六十二号

)の一部を次のように改正する。

別表第一を次のように改める。

別表第一(第4条関係)

技能労務職給料表

職員 の区 分	職務 の級 号給	1級	2級	3級	4級
		給料月額	給料月額	給料月額	給料月額
		円	円	円	円
	1	128,900	180,300	202,000	249,100
	2	129,800	181,800	203,400	250,300
	3	130,800	183,300	204,800	251,400
	4	131,700	184,800	206,100	252,600
	5	132,700	186,100	207,400	253,500
	6	133,700	187,600	208,800	254,800
	7	134,700	189,000	210,200	255,900
	8	135,700	190,300	211,600	257,100
	9	136,500	191,700	213,000	258,200
	10	137,500	192,900	214,600	259,300
	11	138,500	194,200	216,200	260,500
	12	139,600	195,300	217,600	261,700
	13	140,400	196,500	218,900	262,700
	14	141,400	197,600	220,400	263,800
	15	142,400	198,700	221,900	264,800
	16	143,400	199,800	223,200	265,800
	17	144,500	200,900	224,100	266,900
	18	145,700	202,000	224,900	268,100
	19	146,900	203,000	225,800	269,200
	20	148,100	204,000	226,800	270,100
	21	149,200	205,000	227,700	271,100
	22	150,400	206,100	229,200	272,200
	23	151,600	207,200	230,500	273,300
	24	152,800	208,200	231,600	274,300
	25	154,000	209,100	233,100	275,200
	26	155,500	210,000	234,400	276,300
	27	157,000	210,700	235,700	277,400
	28	158,500	211,600	237,000	278,500
	29	159,900	212,500	238,000	279,400
	30	161,400	213,700	239,200	280,500
	31	162,900	214,700	240,500	281,500
	32	164,400	215,600	241,700	282,500
	33	165,900	216,300	242,800	283,300
	34	167,700	217,500	244,100	284,200
	35	169,500	218,600	245,200	285,100
	36	171,300	219,800	246,400	286,200
	37	173,100	220,500	247,700	286,800
	38	174,800	221,700	248,900	287,700
	39	176,500	222,900	250,200	288,600
	40	178,200	224,000	251,500	289,500
	41	179,800	224,900	252,500	290,200
	42	181,200	226,100	253,800	291,200
	43	182,600	227,100	254,900	292,200
	44	184,000	228,200	256,200	293,100

	45	185,500	229,300	257,100	293,800
	46	186,900	230,400	258,200	294,700
	47	188,300	231,500	259,400	295,600
	48	189,700	232,500	260,400	296,500
	49	191,000	233,500	261,600	297,200
	50	192,200	234,600	262,800	297,800
	51	193,300	235,700	264,000	298,500
	52	194,500	236,900	264,900	299,300
	53	195,600	238,000	265,900	299,900
	54	196,700	239,000	267,000	300,700
	55	197,800	239,900	268,200	301,400
	56	198,900	240,700	269,400	302,100
	57	200,000	241,600	270,200	302,800
	58	201,000	242,600	271,200	303,500
	59	202,000	243,600	272,300	304,300
	60	203,000	244,500	273,300	305,000
	61	204,100	245,400	274,400	305,600
	62	205,000	246,300	275,500	306,300
	63	205,900	247,200	276,300	307,000
	64	206,800	248,100	277,400	307,700
	65	207,500	248,900	278,200	308,200
	66	208,300	249,700	279,000	308,700
	67	209,000	250,500	279,800	309,300
	68	209,800	251,200	280,600	309,900
	69	210,200	252,000	281,300	310,500
	70	210,800	252,600	282,100	310,900
	71	211,100	253,000	282,900	311,400
	72	211,700	253,400	283,600	311,900
	73	211,900	253,600	284,400	312,200
	74	212,500	254,000	285,100	312,700
	75	213,000	254,500	285,900	313,200
	76	213,800	255,000	286,700	313,600
	77	214,000	255,400	287,300	313,800
	78	214,700	255,800	287,800	314,100
	79	215,200	256,300	288,300	314,400
	80	215,800	256,800	288,700	314,700
	81	216,500	257,100	289,100	315,000
	82	217,000	257,400	289,500	315,300
	83	217,600	257,700	290,000	315,600
	84	218,300	258,000	290,500	315,900
	85	218,900	258,200	290,900	316,100
	86	219,400	258,400	291,500	316,500
	87	219,900	258,700	292,100	316,800
	88	220,600	259,000	292,700	317,000
	89	221,100	259,200	293,000	317,200
	90	221,700	259,400	293,500	317,500
	91	222,300	259,800	294,000	317,800
	92	222,800	260,000	294,400	318,100
	93	223,200	260,300	294,800	318,300

再任
職員以
外の
職員

94	223,700	260,700	295,300	318,600
95	224,200	261,000	295,800	318,900
96	224,700	261,300	296,300	319,100
97	225,200	261,500	296,600	319,300
98	225,700	261,800	297,000	319,600
99	226,200	262,000	297,500	319,900
100	226,700	262,300	298,000	320,100
101	227,100	262,600	298,400	320,300
102	227,600	262,800	298,800	
103	228,200	263,100	299,100	
104	228,800	263,400	299,400	
105	229,200	263,600	299,700	
106	229,700	263,800	300,100	
107	230,000	264,100	300,500	
108	230,400	264,300	300,900	
109	230,600	264,600	301,200	
110	231,000	264,900	301,600	
111	231,500	265,200	302,000	
112	232,000	265,400	302,300	
113	232,200	265,600	302,500	
114	232,700	265,900	302,800	
115	233,200	266,100	303,100	
116	233,700	266,300	303,300	
117	234,000	266,600	303,500	
118	234,400	266,900	303,800	
119	234,800	267,200	304,100	
120	235,200	267,500	304,300	
121	235,600	267,600	304,500	
122		267,900	304,800	
123		268,200	305,100	
124		268,500	305,300	
125		268,600	305,500	
126		268,900	305,800	
127		269,200	306,100	
128		269,500	306,300	
129		269,600	306,500	
130		269,900	306,800	
131		270,200	307,100	
132		270,500	307,300	
133		270,600	307,500	
134		270,900		
135		271,200		
136		271,500		
137		271,600		
再任用職員	193,200	204,300	222,800	243,600

別表第四中
57
57
57
58
58
58
59
59
59
60
を
56
57
57

57
58
58
58
59
59
59

に改める。

別表第四の二中
104
107
110
113
を
105
108
111
114
に改める。

(技能労務職員の給与等に関する規則の一部を改正する規則の一部改正)

第二条 技能労務職員の給与等に関する規則の一部を改正する規則(平成二十一年三月

奈良県規則第三十七号)の一部を次のように改正する。

附則第五条第一項中「合計額が」を「給料月額が」に、「合計額又は第三号に掲げる合算した額」を「給料月額」に改め、「除く。」の下に「以下この条において「経過措置対象者」という。」を加え、「又は第三号に掲げる給料月額と給料の額との合計額のいずれが多い額」を削り、同項第一号中「その者」を「経過措置対象者」に改め、「とこれに対する地域手当の額との合計額」を削り、同項第二号中「とこれに対する現に在勤する地域に係る技労規則第六条第二項の規定による地域手当の額との合計額」を削り、同号ア中「百分の九十九・一」を「百分の九十六・七」に改め、同号イ中「百分の九十九・三四」を「百分の九十六・九三」に改め、同項第三号を削り、同条第二項中「又は「給料の額」」及び「又は給料の額」を削る。

附則第七条第二項第一号中「と技労規則第四条の二の規定によりその例によることとされる給料の調整額に関する規則の一部を改正する規則(平成十八年三月奈良県人事委員会規則第二十六号)附則第二項及び第三項の規定により支給される給料の調整額を当該職員に係る調整数で除して得た額(前項各号に掲げる職員にあっては、その額をそれぞれ当該各号に定める数で除して得た額)(その額に一円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた額)との合計額」を削り、同号ア中「百分の九十九・一」を「百分の九十六・七」に改め、同号イ中「百分の九十九・三四」を「百分の九十六・九三」に改める。

附則第八条を削り、附則第九条を附則第八条とし、附則第十条を附則第九条とする。

附 則

(施行期日等)

- 1 この規則は、平成二十九年十二月二十五日から施行する。ただし、第二条の規定は、平成三十年四月一日から施行する。
- 2 第一条の規定による改正後の技能労務職員の給与等に関する規則（以下「改正後の規則」という。）の規定は、平成二十九年四月一日から適用する。

(経過措置)

- 3 平成二十九年四月一日からこの規則の施行の日の前日までの間において、新たに給料表の適用を受けることとなった職員及び昇給、降号又は復職時等における号給の調整以外の事由によりその受ける号給に異動のあった職員のうち、改正後の規則の規定による号給がこの規則による改正前の技能労務職員の給与等に関する規則（以下「改正前の規則」という。）の規定による号給に達しない職員の、当該適用又は異動の日における号給については、改正後の規則の規定にかかわらず、改正前の規則の規定による号給とするものとする。

- 4 この規則の施行の日から平成三十年三月三十一日までの間において、新たに給料表の適用を受けることとなった職員及び降格、昇給、降号又は復職時等における号給の調整以外の事由によりその受ける号給に異動のあった職員（個別に任命権者の承認を得て号給を決定することとされている職員を除く。）のうち、前項の規定の適用を受ける職員との均衡上必要があると認められる職員の、当該適用又は異動の日における号給については、なお従前の例によることができる。

(給与の内払)

- 5 改正後の規則の規定を適用する場合においては、この規則による改正前の技能労務職員の給与等に関する規則の規定に基づいて支給された給与は、改正後の規則の規定による給与の内払とみなす。